

文化プログラムの実施に向けた日本芸術文化振興会（国立劇場）の取組

外国人のための鑑賞教室公演（Discover公演）



概要

舞台鑑賞前に外国語による解説を行う【Discover公演】を実施し、さらに観劇を補助するための音声ガイドサービス、公演パンフレット等を多言語で提供

28年度実施状況

ジャンル	日程等	演目	実績等(アンケート回収分)※おきなわ除く
歌舞伎 【国立劇場大劇場】	6/17(金) 14時半・19時	解説「歌舞伎のみかた」 『新皿屋舗月雨暈 —魚屋宗五郎—』	外国籍65カ国、862名／回収数1,506名 音声ガイド(英・中・韓) パンフレット(英・中・韓)
人形浄瑠璃文楽 【国立劇場小劇場】	5/23(月) 18時半	解説「文楽の魅力」 『曾根崎心中』	外国籍24カ国、107名／回収数246名 音声ガイド(英・中・韓) パンフレット(英・中・韓)
人形浄瑠璃文楽 【国立文楽劇場】	6/12(日) 14時	『二人三番叟』 解説「文楽のいろは」 『夏祭浪花鑑』	外国籍36カ国、137名／回収数271名 音声ガイド(英・中・韓) パンフレット(英・仏・西・中・韓)
能・狂言 【国立能楽堂】	6/24(金) 19時	解説「能楽のたのしみ」 『柿山伏』『小鍛冶』	外国籍36カ国、193名／回収数350名 音声ガイド(英・中・韓) パンフレット(英・中・韓)
組踊 【国立劇場おきなわ】	11/19(土) 14時	第一部「組踊の楽しみ方」 第二部 組踊『執心鐘入』	入場者数311名 音声ガイド貸出件数(英52・中7・韓3)

※公演に関連したワークショップ等も一部開催。

歌舞伎・文楽等のイロハを出演者が舞台上でわかりやすく説明する「解説」(約30分)と、初めての鑑賞に適した「名作・名場面の上演」(約60～90分)を組み合わせたプログラムを、外国人向けにアレンジして上演。「解説」では英語に堪能なタレント等を起用し、本編では英語、中国語、韓国語等の音声ガイドやポータブル字幕表示等で上演内容の理解促進を図っている。平成27年度の歌舞伎を皮切りに、28年度は歌舞伎、文楽、能楽、組踊で実施。29年においても以下のとおり実施予定。

29年度「Discover公演」計画

ジャンル	日程等	演目
歌舞伎(国立劇場大劇場)	6/16(金) 14時半・19時	【未定】
人形浄瑠璃文楽(国立劇場小劇場)	12/18(月) 18時半	【未定】
人形浄瑠璃文楽(国立文楽劇場)	6/17(土) 14時	『二人禿』『解説』『仮名手本忠臣蔵』
能・狂言(国立能楽堂)	6/23(金) 19時	「解説』『附子』『黒塚』
組踊(国立劇場おきなわ)	【未定】	【未定】

その他の事業



劇場情報の多言語化等の推進	28年度	29年度実施予定
ユネスコ無形文化遺産コンテンツの多言語化(日・英・仏・独・韓・簡体・繁体)	文楽編	能楽編
『文化デジタルライブラリー』舞台芸術教材の英語版作成	雅楽編	文楽編

公衆無線LANサービス整備

29年4月運用開始予定

日本芸術文化振興会 各劇場施設で実施